

粕壁地区の地名（町名）
かすかべちく ちめい

春日部の地名と題して一月号に発表したとおり、粕壁とは、春日部・糟ヶ辺・糟壁・糟壁村・糟壁町・粕壁町・粕壁宿・南埼玉郡粕壁町・春日部町・春日部市と変遷していることが判った。

現在の大字粕壁（粕壁東・緑・南・中央・八木崎町・浜川戸町を含む）の近世における宿駅の集落としては、当初つぎの小名が使用されていた。

上宿・中宿・新宿・三枚橋・下組・横町・寺町・八木崎・内出・金山・浜川戸・砂塚・梅田・川久保

幕末期には伝馬御用の繁多により組が編成されて、つぎの名が明治期まで使用された。

上町・新宿組・三枚橋・新々田・下組・大砂組・内出・金山・寺町・横町・川久保・元新宿・内谷・太田・

大池・松ノ木・裏町・前山中・上山中・陣屋・八木崎・浜川戸・土井・井戸棚居いどだない・草刈場くさかりば・馬草場新田ばくさしんでん

大正期から昭和二十年頃までは町内編成が行なわれ、つぎのように名称を付していた。

上町・仲町・新宿組・三枚橋・大砂・新々田・大下・松ノ木・川久保・元新宿・内谷・大池・浜川戸・八幡前・幸町・八木崎・内出・金山・旭町・春日町・富士見町・陣屋・元町

戦後、一部名称が変更され編成も一部変更された。

上町・仲町・本町・三枚橋・大砂・一宮町・東町・川久保・元新宿・内谷・大池・浜川戸・八木崎・宮本町・幸町・内出・旭町・春日町・富士見町・陣屋・元町

近年になって住居表示法に基づいて粕壁東・緑町・南という町名が付されたり、また区画整理によって中央・八木崎町・浜川戸町等の町名が付されるようになった。

このように集落名も時代の変遷により変化してきている。

これら町名の中から、特色のある町名の由来を記し参考にする。

▽元新宿・・・元亀四年の北条氏文書には糟ヶ辺新宿とある。中世末期には現在の街道は整っていない。古道沿いに開けた宿であったが、江戸時代に入って宿駅制度が確立し街道も整備され、粕壁宿が定められ、上宿・

中宿のみでは伝馬の御用が不足のため新宿の住民が宿駅の中心地へ移住して伝馬の御用をつとめるようになった。その土地を新宿組と称したので、元の居所を元新宿と称するようになったと伝えられている。

▽三枚橋・・・古利根川から草刈場の田に灌漑用の水路が街道を横断していた（現在は暗渠）。その水路に架けられた橋の名三枚石橋より称えられたもので、日光道中宿村大概帳に「字三枚石橋・石橋長三尺・横三間・是を自普請仕来」と記されている。橋の架けられていた所は粕壁小学校入口の「ハヤシヤ」の右脇で、三枚の石板で構築されていたので、この名があると伝えられる。

▽大砂・・・下八幡社の大門と現八幡橋通りの東側の砂塚という集落が合併して伝馬組織をつくったのでそれぞれの頭文字をとって称えたものである。

地名については、今後なお研究する必要がある。